

難聴者

推定1400万人

補聴器購入に公的補助を

署名にご協力下さい

補聴器購入への公的助成を求める声が広がっています。兵庫や神奈川、長野、高知、石川などの県議会で「国に助成制度を求める意見書」がすでに採択されています。各地の市議会でも同様の意見書が採択されており、京都でも先般、宮津市や与謝野町の議会で公的助成を国に求める意見書が採択されました。

そして、支援事業を行う行政が広がっています。京都市でも実現させましょう。



70歳を越えると約半数が難聴者といわれています。聴こえづらくなると「外出や人と話しをするのが、おっくうになる」など、引きこもりや孤立化の原因になったり、認知症のリスクを高めるといわれています。早期の補聴器使用とこまめに調整することでこうしたリスクを取り除くことが可能です。

しかし、日本の場合、補聴器を利用している方は欧米諸国に比べても低く、この原因に高価な上に、保険の適用がなく「新調したいけど高くて手が出ない」という現実があります。また、うまく聞こえるようになるには、専門家による調整も必要です。

補聴器の公的助成を求める会

連絡先：全日本年金者組合京都府本部

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13 mail nennkin-kyoto@itkeeper.ne.jp)
京都府教育会館別館 (tel:075-761-3213/:FAX:075-761-3214)